

時が経つのは、本当に早いですね。

2月の保育の日はあと10日しかありません。

こどもたち、スタッフたち、体調を整えての毎を送らなければなりません。

残り少ないこれからの日々を、楽しい毎日であるよう心がけます。

ご家庭でもよろしくご協力をおねがいします。

■園生活でトイレや職員室はこどもたちの遊びの場ではないが、原則として危険でない限りどこで遊んでも良いとの方針です。

職員室と言うのは、こどもたちにとってはあまり行きたくないし、ちょっと女兼ねなど思いがちかと思われませんか。

でも、自分の先生や、好きな先生の机はどこなんだろうかと興味や関心があるものです。

お当番になると、必ず日に1回は出入りしなければならぬ部屋です。

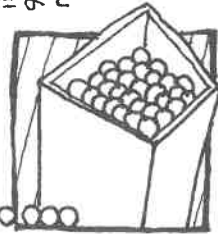
来週の月曜日(4日)から、その職員室でお弁当を食べる事が出来るのです。

密を避けて、クラスを男女に分け、6日間に

亘って行うのは、本園が近い年長組です。クラスでくじ引きをして、場所とりの順を決めます。

毎年の事ですが、**誰が園長の机をGETするのか**が注目です!

該当のご家庭おねがいします。



■就学前の園児が「ハーモニカでベトナムの「歓びの唄」を合奏した自らの功です。

今年もコロナの影響でハーモニカはストップしております。

その代わり「ハンドベル」を使います。2月17日ホールを使って発表会を開催いたします。こどもたち一人ひとりの「心の育ち」をしっかりと確かめてください♡

■アレルギー対策としてバレンタインのお菓子の交換はありません。

(心の育ちシリーズ)

音楽が持つ力

72歳の女性が認知症で施設に入っております。車椅子でホールに入ってきた時、窓から美しい夕焼けが見えました。その夕焼けを懐かしげに見ていました。私は「もしかして、この人の曲だったら歌えるかな?」と思って「夕焼け小焼け」を演奏しました。

最初の内は口元がパクパクするだけで、歌詞は出ません。しかし何回何回もオルガンを弾き続けました。その内に歌詞を少しずつ思い出したようです。

1時間くらい経って、その方は「夕焼け小焼け」の曲を歌えるようになって来て、30分とすると2番まで全部思い出しました。と言っているのは音楽療法士の高木恭子さんで、音楽を薬にして、心身の障害や認知の回復機能の維持・改善のため、次のよう続けています。

その方の息子さんはこども親孝行な方で、毎日仕事帰りにお見舞いに来ており息子さんが声をかけて「どのどちらでもか知りませんが、ご親切ありがとうございます」と言っていました。所がある日、びっくりする事が起きました。いつものように息子さんが「母さんよかったなあ! きょうは先生に歌を教えてもらったよ! ありがとう」と声をかけました。すると「ああ、よかったん!」と言ったんです。

おどろいたのは息子さんです。「母さん、俺の名前を思い出してくれたんか!」と叫びました。すると当たり前のような顔をして「そりゃ、あんたはよしおでえ」と言ったのです。

皆さん、夜よく眠れますか? 夜よく眠れる人は体が疲れている人です。逆に夜よく眠れない人は脳が疲れている人です。そういう人は脳の疲れをとってあげなければいけません。脳が疲れるとマウス思考になってしまいます。

うつ病と言のは脳にブレーキがかかった状態です。その時は心がほっとおぼゆる曲を聞いてください。美空ひばりさんの「愛燦々」という曲は、中高年の世代にととても有効です。と書いてあります。